

重点戦略(案)

重点戦略の見方

タイトル・ 基本的な考え方

第1次案の内容を記載しています。

【今後】

各共汗部会での議論を経て、8月9日の第6回融合委員会において、パプコメ結果も踏まえた第1次案の修正の検討など、第2次案を検討

市民ぐるみで、暮らしやまちの変化を実現する

「低炭素型まちづくり戦略」

基本的な考え方

温室効果ガスの大幅な排出削減を展望し、既存ストックの有効活用と望ましいストックの形成、再生可能エネルギーの拡大やごみの減量、公共交通を有効利用した歩いて暮らせるコンパクトなまちづくり、緑と自然の育成と活用、先端的科学技術と伝統技術、歴史と文化を融合させた低炭素時代のものづくり産業の創出などにより、エネルギー多消費型の都市構造と暮らしから、低炭素型のまちと暮らしへの転換を図る。

エネルギー多消費型の都市構造と暮らし

環境にやさしい都市づくり

- ・ 既存ストックの有効活用と望ましいストックの形成
- ・ 公共交通を有効利用した歩いて暮らせるコンパクトなまちづくり
- ・ 緑と自然の育成と活用

エネルギー転換・ごみ減量

低炭素時代の産業創出

低炭素型のまちと暮らしへの転換

温室効果ガスの大幅な排出削減 (2030年の目標:「40%削減(1990年比)」)

戦略を推進するうえでの役割分担

市民・団体

公共交通を積極的に利用
使用する自動車を次世代自動車へ転換促進
緑の保全
ごみの減量・リサイクルを推進し、環境にやさしい取組を実践
環境にやさしい商品購入
地産地消の実践

企業・事業者

- ・ 公共交通の利便性向上
- ・ 社用車を次世代自動車へ転換促進
- ・ 建築ストックのコンバージョン(再生利用)の取組
- ・ 建物緑化
- ・ 環境に配慮した事業活動の実践
- ・ 再生可能エネルギーの積極活用
- ・ 低炭素型生産・サービスシステムへの転換
- ・ 林業の活性化を通じた森林の育成

行政

- ・ 公共交通の利便性向上
- ・ 電気自動車の充電インフラ等の整備
- ・ ストックの活用促進
- ・ 自然環境の保全
- ・ 市民・事業者と連携したごみ減量・リサイクルの推進
- ・ 低炭素型産業の振興

戦略を推進するうえでの役割分担

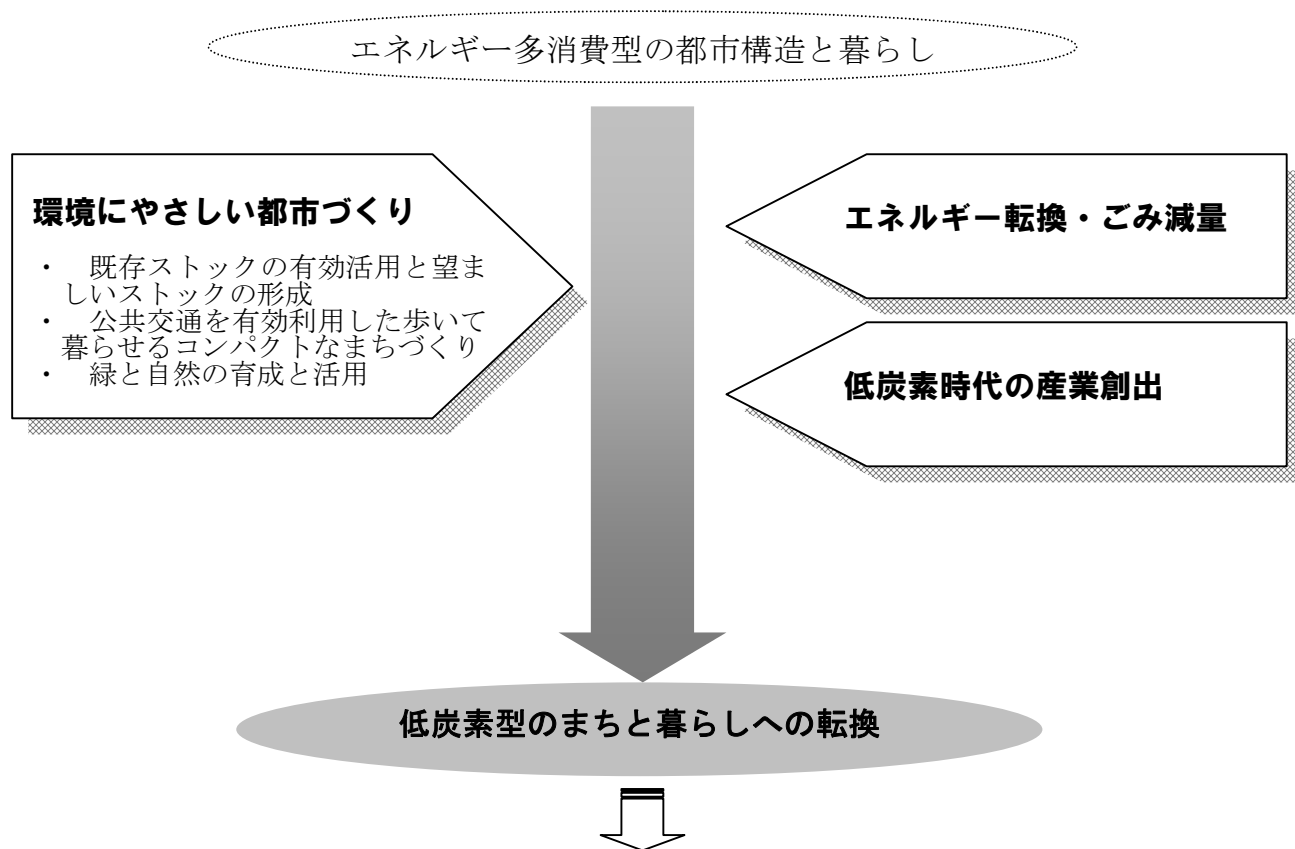
戦略を推進するうえでの、市民・事業者・行政の各主体の役割分担の内容を記載しています。

市民ぐるみで、暮らしやまちの変化を実現する

「低炭素型まちづくり戦略」

基本的な考え方

温室効果ガスの大幅な排出削減を展望し、既存ストックの有効活用と望ましいストックの形成、再生可能エネルギーの拡大やごみの減量、公共交通を有効利用した歩いて暮らせるコンパクトなまちづくり、緑と自然の育成と活用、先端的科学技術と伝統技術、歴史と文化を融合させた低炭素時代のものづくり産業の創出などにより、エネルギー多消費型の都市構造と暮らし方から、低炭素型のまちと暮らしへの転換を図る。



温室効果ガスの大幅な排出削減 (2030年の目標:「40%削減(1990年比)」)

戦略を推進するうえでの役割分担

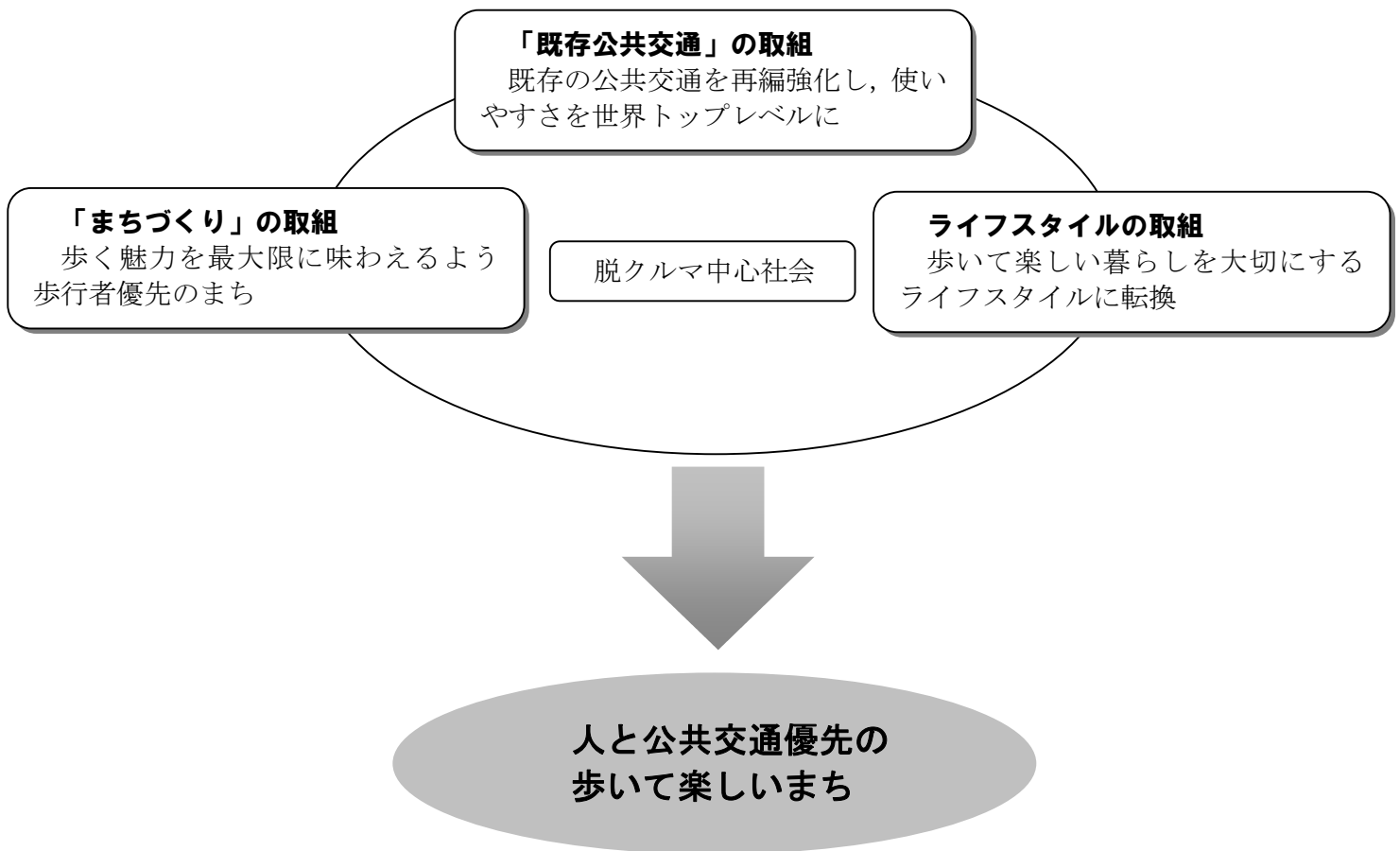
市民・団体	企業・事業者	行政
- 公共交通を積極的に利用 - 使用する自動車を次世代自動車へ転換促進 - 緑の保全 - ごみの減量・リサイクルを推進し、環境にやさしい取組を実践 - 環境にやさしい商品購入 - 地産地消の実践	- 公共交通の利便性向上 - 社用車を次世代自動車へ転換促進 - 建築ストックのコンバージョン(再生利用)の取組 - 建物緑化 - 環境に配慮した事業活動の実践 - 再生可能エネルギーの積極活用 - 低炭素型生産・サービスシステムへの転換 - 林業の活性化を通じた森林の育成	- 公共交通の利便性向上 - 電気自動車の充電インフラ等の整備 - ストックの活用促進 - 自然環境の保全 - 市民・事業者と連携したごみ減量・リサイクルの推進 - 低炭素型産業の振興

人と公共交通を優先する

「歩いて楽しいまち・京都戦略」

基本的な考え方

トランジットモール化による快適な道路空間の確保、ライフスタイルの転換などにより、過度なクルマ中心社会からの脱却を図り、人と公共交通を優先する京都の新しい交通体系を市民と共に創り上げることで、観光地や都心の交通渋滞の解消を実現するとともに、市民や観光客による公共交通の利用増が更なる利便性の向上を実現する好循環を創り出す。



戦略を推進するうえでの役割分担

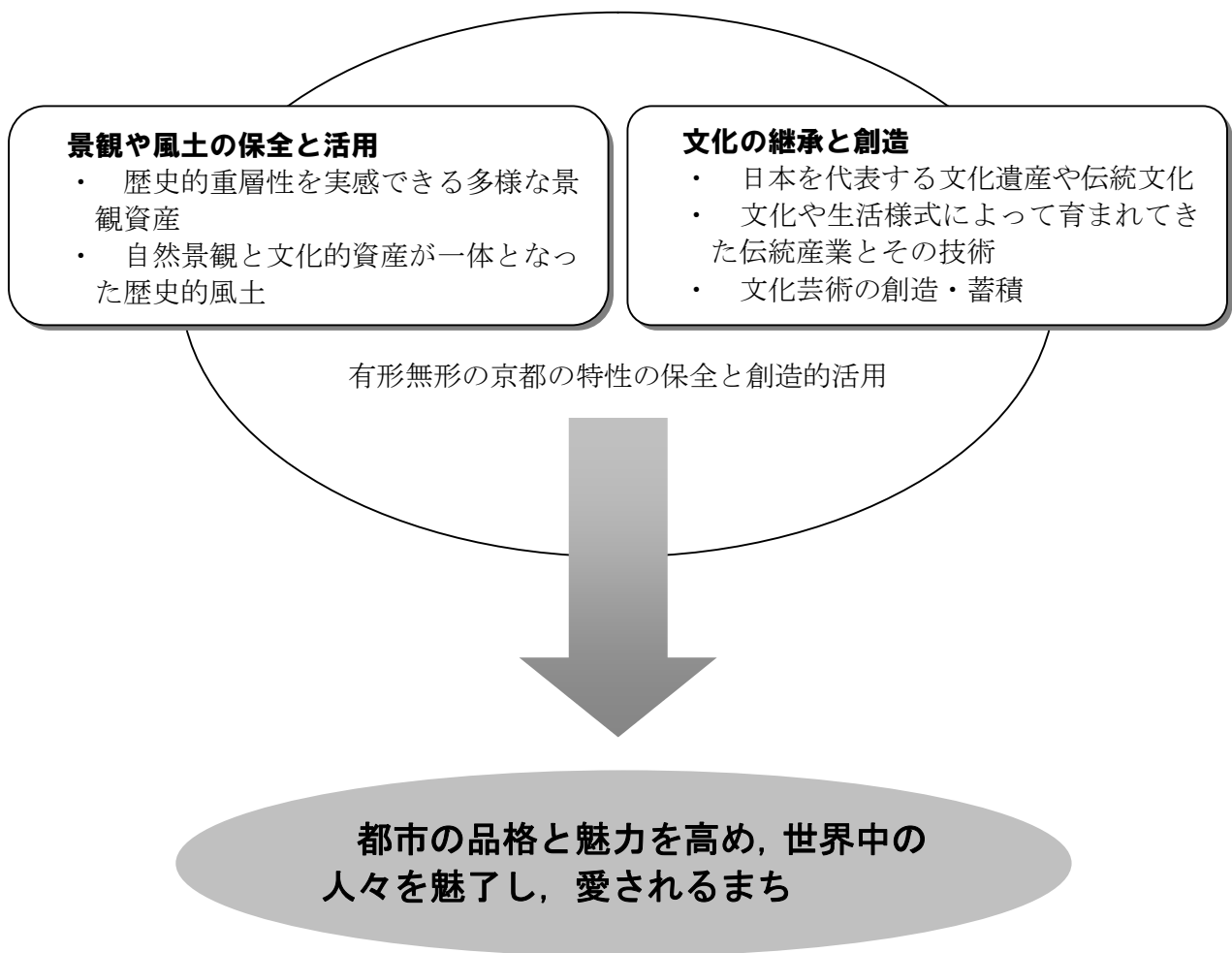
市民・団体	企業・事業者	行政
- 道路環境の美化（清掃や花壇づくりなど） - ひとりひとりが歩くくらしを大切にし、マイカーから公共交通機関利用に交通行動スタイルを転換する。	- 事業者等の連携によりネットワークを構築し、公共交通の利便性を向上させる。 - 市民目線に立った公共交通利用のための情報提供を行う。 - 交通の転換に伴う新たなビジネスの創出	- 市民が交通行動スタイルの転換を促すための施策を展開する。 - 公共交通ネットワークの利便性向上に向けた交通事業者への支援 - 快適な歩行空間等の整備 - 市営地下鉄・バスの利便性の向上 - 違法駐停車対策指導及び自転車マナーの啓発

歴史都市の品格と魅力が国内外の人々を魅了する

「歴史・文化都市創生戦略」

基本的な考え方

歴史的な重層性を実感できる多様な景観資産、自然景観と文化的資産が一体となった歴史的風土、日本を代表する文化遺産や伝統文化、文化や生活様式によって育まれてきた伝統産業とその技術、文化芸術の創造・蓄積など、有形無形の京都の特性を保全することは勿論、創造的に活用することで、都市の品格と魅力を高め、世界中の人々を魅了し、愛されるまちづくりを進める。



戦略を推進するうえでの役割分担

市民・団体	企業・事業者	行政
- 良好な景観形成に関する積極的な取組 - 地域の身近な環境整備やコミュニティへの取組 - 文化に親しみ、広げ伝える - 新たな文化創造へのチャレンジ	- 良好な景観形成に関する積極的な取組や推進 - 地域への参加・交流と地域対応型事業の取組や推進 - 伝統文化や伝統産業、文化芸術を活かした事業展開 - 文化の継承や創造の支援(メセナ)	- 良好な景観形成に関する施策の展開 - 様々な支援(制度面、財政面、教育等) - パートナーシップ型の景観・まちづくりの環境整備 - 重要な資産の保存 - 文化芸術の担い手の育成 - 多様な市民活動の支援

歴史・文化と環境が調和し、公共交通を活かす

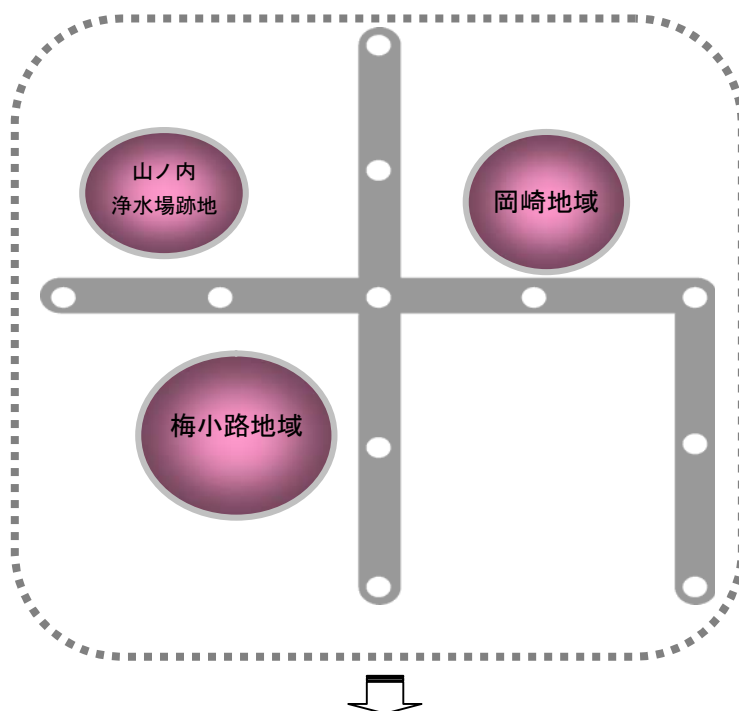
「個性あふれる地域づくり戦略」

基本的な考え方

京都のアイデンティティである歴史的・文化的な資源を創造的に活用し、環境と調和した活力あるまちを実現するため、公民協働による特色と輝きのある地域づくりを行う。岡崎地域や山ノ内浄水場跡地など地下鉄沿線をはじめとする各地域を活性化し、既存の公共交通を活かすコンパクトで魅力あふれる都市づくりを進める。

市内各地域における公民協働による特色と輝きのある地域づくりの推進

既存の公共交通を活かすコンパクトで魅力あふれる都市づくりの推進



環境と調和した活力あるまち

戦略を推進するうえでの役割分担

市民・団体	企業・事業者	行政
- 地域の魅力向上や環境向上に資するきめこまかいまちづくり活動の推進 - 地下鉄の駅や公共交通を積極的に活用する生活スタイルの推進	- 地域に開かれた事業所づくり - 地下鉄の駅や公共交通を有効に活用できるよう配慮した建設投資	- 地域の核となる公共施設や公共空間の再整備 - 市民の自主的なまちづくり活動の支援 - 地下鉄の駅や公共交通を中心とした計画的な都市機能の配置・誘導

旅の本質に触れられ、世界が共感する

「観光都市づくり戦略」

基本的な考え方

滞在・宿泊型観光、歩く観光、ほんものとふれあう観光の充実や、京都ファンづくり、観光客の安全確保などにより観光スタイルの質を高め、観光都市としての格を磨き、国内はもとより世界の人々が旅の本質に触れ思う存分堪能できる観光都市づくりを進める。また、京都の都市特性を生かし、国際会議、企業研修旅行、イベント等による国際集客への取組を強化し、世界に冠たる国際MICE*都市へと飛躍する。

*MICE（マイス）：企業のミーティング、企業研修旅行、国際会議、イベントなどの総称

観光スタイルの質を高める

- ・ 滞在・宿泊型観光、歩く観光、ほんものとふれあう観光の充実
- ・ 京都ファンづくり
- ・ 観光客の安全確保

観光都市としての格を磨く

国際集客への取組を強化

- ・ 国際会議、企業研修旅行、イベント等

国内はもとより世界の人々が旅の本質を思う存分堪能できる観光都市

世界に冠たる国際MICE都市

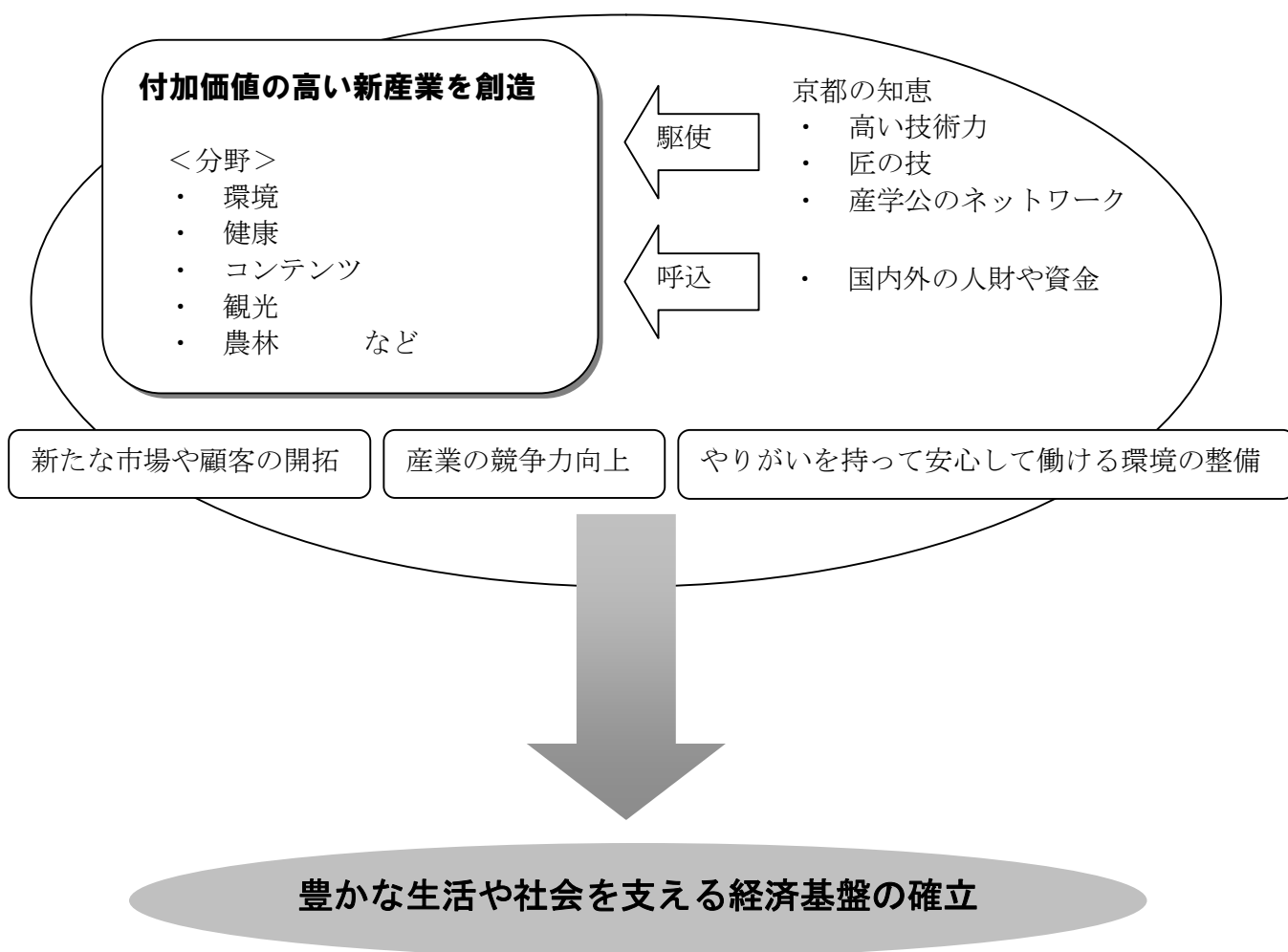
戦略を推進するうえでの役割分担

市民・団体	企業・事業者	行政
・ 先人から預かった京都のほんものを大切に継承する ・ 京都の魅力を知り、学び、楽しむ ・ 京都人としてのたしなみに磨きをかける ・ 京都人として誇りを持って観光客をおもてなしする ・ 関連する NPO や NGO と MICE 主催者との連携	・ 滞在・宿泊型観光、歩く観光、ほんものとふれあう観光の推進 ・ 京都観光を第一線で支える立場でのサービスの改善・向上 ・ 京都の類まれなる「光」を大切に守り、磨き、発掘し、次代に伝える ・ MICE 分野の人材育成 ・ 積極的な誘致活動	・ あらゆる政策の融合によるまちづくりの推進 ・ 京都観光を支えるみんなのプラットフォーム（基盤）としての機能 ・ 市民が存在感を発揮できる環境づくり ・ 情報発信、効果的なプロモーション ・ 受入環境の整備 ・ 積極的な誘致活動

「新産業創造戦略」

基本的な考え方

伝統産業から先端産業までの幅広い業種と、大企業から中小企業までの多様な規模の企業が立地する重層的な産業構造が有する高い技術力や匠の技、産学公のネットワークなどこれまで京都が築き上げてきた様々な知恵を駆使し、広く国内外から人財や資金などを呼び込みながら、環境、健康、コンテンツ、観光、農林などの分野で、付加価値の高い新産業を創造する。これにより、加速する国際化のなかで新たな市場や顧客を開拓し、産業の競争力を高め、多様な雇用の機会を提供することにより、やりがいを持って安心して働ける環境を整えるなど、豊かな生活や社会を支える経済基盤を確立する。



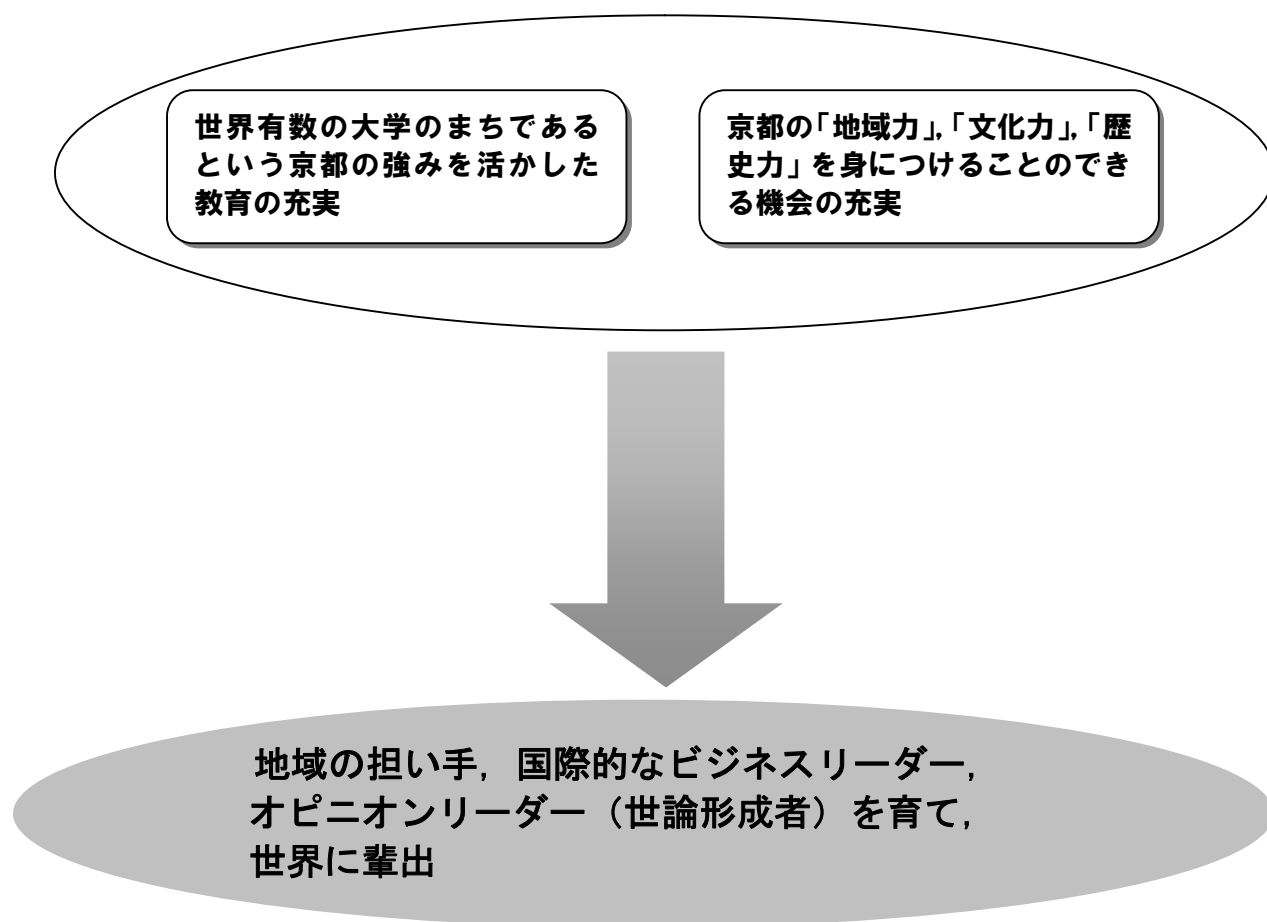
戦略を推進するうえでの役割分担

市民・団体	企業・事業者	行政
・ 付加価値の高い京都のもののづくり・サービスを理解し、市内需要の拡大に努める。	・ 京都の多様な資源を活かした課題解決型、文化付加価値型産業等の新たな産業創出	・ 産学公が結集した広域的・国際的視点に立つ研究プロジェクトの実施やプラットフォーム及びネットワークの構築 ・ 中小・ベンチャー企業による新事業創出、第二創業への支援

「未来の担い手育成戦略」

基本的な考え方

若者が夢と希望を持ち続け、生き生きと成長しながら京都への愛着を育んでいくとともに、京都や国内外の社会に貢献できるよう、世界有数の大学のまちであるという京都の強みを活かした教育をはじめ、京都の「地域力」、「文化力」、「歴史力」を身につけることのできる機会を充実することで、地域の担い手を育み、更には、国際的なビジネスリーダーや様々な分野のオピニオンリーダー（世論形成者）といった次代を担う人を育て、世界に輩出する。



戦略を推進するうえでの役割分担

市民・団体	企業・事業者	行政
・ 学生の地域生活の多面的なサポート ・ 地域の諸活動への若者の参加を広げ、活動を通じて若者を育成	・ 大学間連携の強化や地域に開かれた大学づくり ・ 京都の強みを生かした新産業創造等による雇用の拡大	・ 国際交流の多様なチャンネルの拡充 ・ 大学での先端の研究を小中学生に体験させるしくみづくりの推進 ・ 京都のほんものを実感できる地域づくりの支援 ・ 地域を学ぶ学習プログラムの充実

子どもと親と地域の笑顔があふれる

「子どもを共に育む戦略」

基本的な考え方

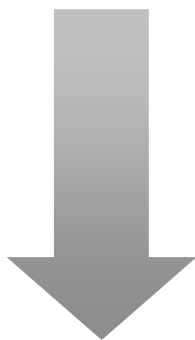
社会全体で子どもを育むという「子どもを共に育む京都市民憲章」に基づく行動の輪を広げ、地域力を生かした子育て支援サービスや医療体制の充実、仕事と生活が調和し男女が共に子どもを育てる社会に向けた条件整備に取り組み、企業も参画する市民ぐるみ・地域ぐるみの豊かな子育てと教育を充実し、子どもと親と地域の笑顔があふれ、安心して楽しく子育てができるまちづくりを進める。

子どもを共に育む京都市民憲章に基づく行動の輪の拡大

地域力を生かした子育て支援サービスや医療体制の充実

仕事と生活が調和し男女が共に子どもを育てる社会に向けた条件整備

企業も参画する市民ぐるみ・地域ぐるみの豊かな子育てと教育の充実



子どもと親と地域の笑顔があふれ、安心して楽しく子育てができるまち

戦略を推進するうえでの役割分担

市民・団体	企業・事業者	行政
- 子どもを大切に育む - 子育てについて積極的に学び、実践する - 地域の人々が子育て家庭を温かく見守り、共に支える	- ワーク・ライフ・バランス実現に向けた取組 - 地域活動への参加と貢献	- 地域における子育て支援の拠点づくり - 子育て・人づくりの全市的なネットワークなどの連携づくりの支援 - 安心して子育てできる環境整備

仕事・家庭・社会貢献が調和する

「真のワーク・ライフ・バランス戦略」

基本的な考え方

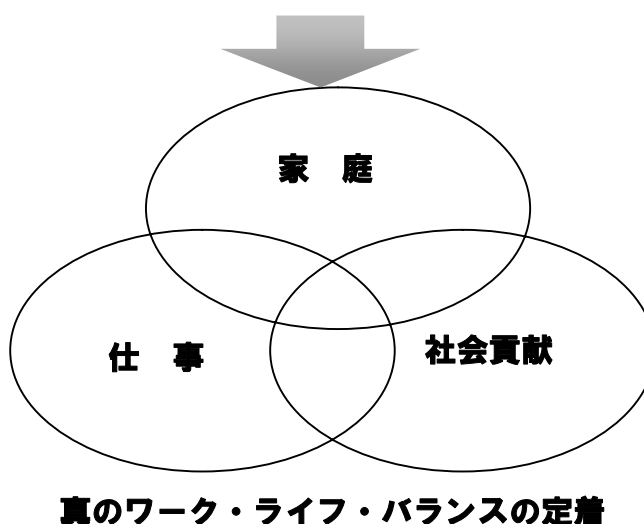
男女が共に能力を発揮できる労働環境の整備，育児や介護などへの男性の参加や負担軽減のための支援強化，誰もが地域や社会における公益的活動に参画しやすい条件の整備等を行う。

これにより，若者をはじめ，性別や年齢を問わず，誰もが共に多様な生き方・働き方を選択できるまちづくりを進め，仕事・家庭・社会貢献が調和した真のワーク・ライフ・バランスを定着させる。

男女が共に能力を発揮できる労働環境の整備

育児や介護などへの男性の参加や負担軽減のための支援強化

誰もが地域や社会における公益的活動に参画しやすい条件の整備



戦略を推進するうえでの役割分担

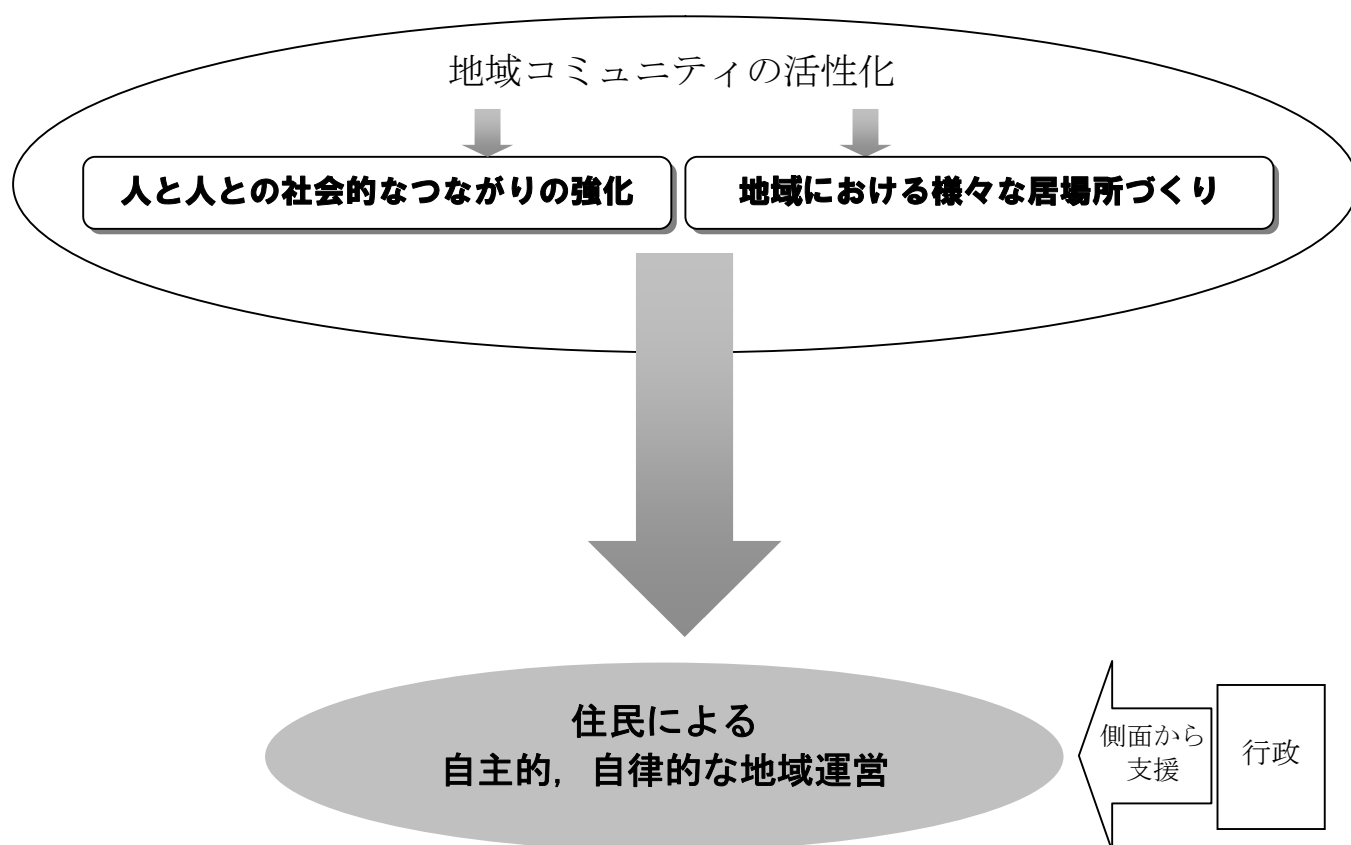
市民・団体	企業・事業者	行政
- 男女が互いの能力を認め合う。 - 男性による育児や介護への積極的な参加 - 男女が共に地域活動や社会活動へ参加極的な参加	- 長時間労働の解消 - 非正規雇用者の就業環境の整備促進 - 男女雇用機会均等対策の促進 - 育児休業や介護休業などの制度の定着と利用促進 - 労働者が地域・社会貢献活動へ参加することを理解し、支援する。	- 雇用・労働環境の適正化や社会活動の選択肢を拡大するための啓発・支援活動 - オール京都による取組体制の構築を先導 - 子育てしながら働き続けられる条件の整備 - 高齢者の生活や介護等に関するサービスの充実，質的向上 - 地域活動に対する支援や情報提供の充実 - 意思決定の場に男女が共に参画できる条件の整備

だれもが参加したくなる

「地域コミュニティ活性化戦略」

基本的な考え方

市民の暮らしの基盤であり、長年にわたり培われた住民自治の伝統や支え合いの精神が息づく町内会や自治会、学区、商店街などの地域コミュニティを活性化し、人と人との社会的なつながりを強め、地域における様々な居場所づくりを進めるとともに、住民による自主的、自律的な地域運営を行政が側面から支援する。



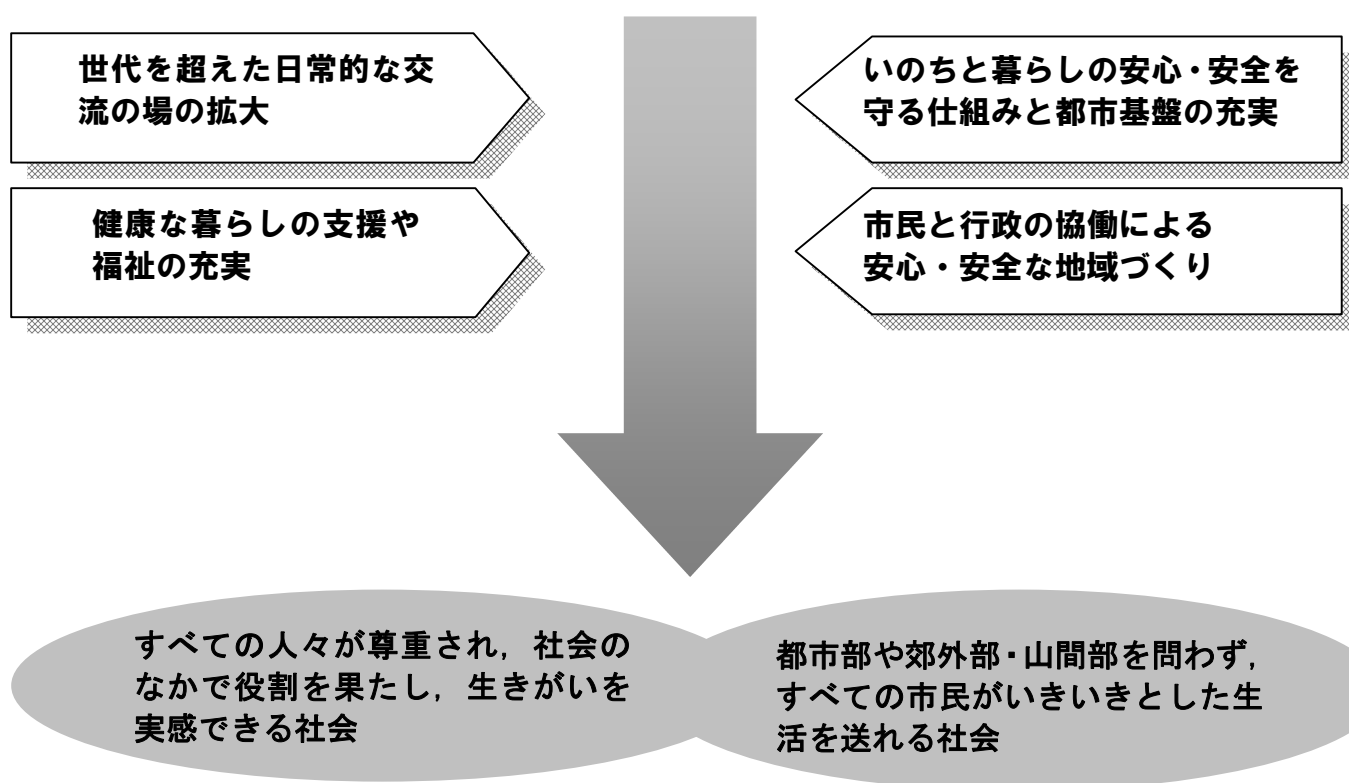
戦略を推進するうえでの役割分担

市民・団体	企業・事業者	行政
- 様々な団体が相互に連携しながら、地域活動を牽引 - 既存の組織に捉われない誰もが参加しやすい組織づくり	- 地域への貢献は事業者の社会的役割と認識し、地域活動に貢献 - 地域活動との積極的な連携や居場所の提供等の提供	- 市民のつながりをコーディネートする人的支援などの拡充 - 市民活動・NPO・ボランティアなどの活動拠点の整備

「いのちと暮らしを守る戦略」

基本的な考え方

子ども、高齢者、障害のある方をはじめすべての人々が尊重され、社会のなかで役割を果たし、生きがいを実感できるとともに、都市部や郊外部・山間部を問わず、すべての市民がいきいきとした生活を送れるよう、世代を超えた日常的な交流の場、安定的な就労や社会参加の機会を広げ、ユニバーサルデザイン*により、住みよく災害に強い生活環境を整備し、健康な暮らしの支援や福祉の充実を進める。また、消防・防災、福祉、医療など、市民のいのちと暮らしの安心・安全を守る仕組みと都市基盤を充実するとともに、市民と行政の協働による安心・安全な地域づくりを進める。



戦略を推進するうえでの役割分担

市民・団体	企業・事業者	行政
- 多様な自主的活動の推進と相互交流 - 地域課題に応じ安心・安全に関する横断的な取組と体制づくり - 多種多様な生きがいづくり、楽しみながらの健康づくりの実践 - 市民ひとりひとりが互いを尊重し、認めあい支えあう生活 - 安心・安全な地域づくりを目指した自主的な取組の推進	- 施設等を地域の活動拠点として提供 - 法令遵守を徹底するとともに、地域に開かれた事業所を展開 - 良質な福祉・医療サービス等の提供 - 市民、行政等との連携体制の確立	- 市民の多様な取組の支援や活動の場づくり - 安心・安全の体制の確保と都市基盤づくり - 高齢者や障害のある方等の社会支援等の環境整備 - 地域や事業所等と連携し、情報の共有を図りながら、地域の自主的な取組の支援